

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②事業者情報

名称：	あおぞらウィンクルム保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	大野智子	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-185-2 のびのびプラザ大宮 2 F	TEL	048-782-8716

③評価実施期間

平成30年7月1日（契約日）～平成30年11月5日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

①食育の範疇を超える工夫した取り組みは園の代名詞になっています

「食育を通して人を育む」と謳っているとおり、食育に対する取り組みは本園の代名詞となっており、保護者・職員共通の認識にもなっています。野菜の栽培・クッキング保育・栄養バランスを考慮したおやつ提供等の取り組みのほか、チキンやカツオの裁き方の見学など楽しむだけでなく興味や関心を育てる取り組みは食育の範疇を超える活動と言えます。またこれらは綿密な計画の立案、衛生への配慮から成り立っており、その尽力に対して敬意を表します。

②事故防止・権利擁護など子どもの安全に対して注力がなされています

事故防止・危機管理等の各種マニュアル整備をはじめ事故防止や救急対応については特に注力がなされており、座学ばかりでなく、技術として習得することを心がけながら対応に取り組んでいます。また「3つの誓い」・「職員の心得」を掲示し、常に保育に従ずるものとして適切な対応を図るよう関係各所と協調し、子どもを尊重した保育の推進を図っています。

③幅広い地域交流から地域の児童福祉推進が図られています

管理職は、保育だけにとどまらず各種会合・委員会への出席、役務の引き受け等により地域福祉への貢献を果たしています。また法人として地域交流の推進は、中長期計画に指針を定め、事業計画に具体的内容を掲載しています。子育て支援を中心とした複合施設内に存していること、同施設内に高齢者支援機関があること等から積極的な地域交流がなされており、近隣の高齢者施設との親睦、社会的養護への衣類提供、離乳食教室、赤ちゃん広場など職員・子ども・保護者が一体となって進められています。

◇改善が求められる点

法人として4回目、本施設として2回目の第三者評価受審となりましたが、保育へのあくなき追求心、子どもへの愛情から多くの課題や目標が抽出されました。新しいことを取り入れることができる安定感、旺盛なチャレンジ意欲などを感じ取ることができる内容となっています。

- 保護者対応の検討・外部研修の参加
- 更新頻度を高めたホームページの活用や改訂
- 職員募集説明会の開催等人材確保対策の実施
- フッ化物洗口を取り入れた口腔ケアの実施
- 職員の多様な働き方への対応と更なる検討
- 災害時の事業継続計画の策定
- 午睡時のタイマー使用の検討
- 長時間保育への配慮についての指導計画への盛り込み

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回2度目の第三者評価を受審したことにより、職員の連携が深まったと共に、保育の質の向上につながるとても良い機会となりました。
これからも、既成概念に捉われず、地域のニーズに合った保育を、職員一同取り組んで参ります。
お忙しい中、評価をして頂いて感謝申し上げます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり